

2020年度「校長室からの挑戦状No.40(3/5)」

小学生でも十分で
きる問題です!

締切(3月10日)

あきらめずに
考えてみよう!

高校入試問題に挑戦してみよう! (R 3 宮城県高校入試問題数学改題)

1. 二けたの整数を考え、十の位をX、一の位をYとします。なお、X、Yはともに1~9までのいずれかの整数とします。
- (1) この整数をXとYを用いて表しましょう。
 - (2) この整数の一の位と十の位を逆にした整数をXとYを用いて表しましょう。
 - (3) (2)で求めた整数から(1)の整数を引いたところ、その値が45になりました。もとの(1)の整数で最も大きいものを求めましょう。

2. 右の表は、あるクラス全員(40人)の片道の通学時間を調べて整理したものです。この表から必ずいえるものはT、いえないものはFに○をつけてください。

- ① モードは12.5である。
- ② 通勤時間の平均は12.5分である。
- ③ 20分以上25分未満の階級の相対度数は0.15である。
- ④ このクラスは遠くから来ている人はあまり多くはない。
- ⑤ 中央値は15分以上20分未満の階級に入っている。

片道通学時間(分)	
以上~未満	度数(人)
0~5	4
5~10	7
10~15	10
15~20	8
20~25	6
25~30	5
合計	40

学年

氏名:

1

(1)

(2)

(3)

2

- ① モードは12.5である。 T・F
- ② 通勤時間の平均は12.5分である。 T・F
- ③ 20分以上25分未満の階級の相対度数は0.15である。 T・F
- ④ このクラスは遠くから来ている人はあまり多くはない。 T・F
- ⑤ 中央値は15分以上20分未満の階級に入っている。 T・F